

全国老施協における生産性向上 (業務効率化) に向けた 取り組み

第2回 介護現場革新会議

期日：平成31年2月14日（木）

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

介護現場革新プランへの提案事項

生産性向上（業務効率化）に向けた取り組み

- 全国老施協では、施設内でのサービス提供や行動に対して、ICTツールを活用したタイムスタディによって作業時間帯を把握していることから、当該調査結果をもとに、全10施設の業務時間の構造を集計した。
- 介護職員においては、トイレ誘導・介助、おむつ交換、見守り・コール対応、食事準備・介助のほか、記録関連にもかなりの時間がかかっており、看護職員については、健康管理・看護のほか、記録関連に多くの時間を要している。事務系職種については、各職種として想定されている業務が30%～60%を占めており、共通で行われる業務の中では、「会議・引継ぎ」、「その他事務」の割合が高い。
- 全国老施協としては、①業務の可視化、②ツール導入の検証、③実装・再検証のフェーズに基づき、今後業務効率化を推進していく。この点、今後ICT導入にかかる環境整備や機器導入に必要な予算措置の他、開発環境や薬機法、個人情報取扱い等に関する制度見直しについては、現場の実態に見合う形で引き続き検討いただきたい。

介護現場のイメージ改善

- 地域によっては福祉・介護は基幹産業となりつつあり、地方部での特養の賃金水準の高揚という形で現れはじめています。国においても、「高齢者」から想起されるネガティブなイメージを払拭させ、介護の尊さや、社会的価値の向上に努めるほか、介護従事者が柔軟で、働きやすい環境整備に向けた支援をいただきたい。

目次

| 内容 | 頁 |
|-------------------------|----|
| 介護現場革新プランへの提案事項 | 2 |
| 参考資料 | |
| 1. 生産性向上（業務効率化）に向けた取り組み | 4 |
| 2. ロボット・ICTの活用について | 17 |
| 3. 介護業界のイメージ改善 | 23 |

参考資料

1. 生産性向上（業務効率化） に向けた取り組み

介護老人福祉施設における適切な費用構造に関する調査

- 全国老施協では、施設内でのサービス提供や行動に対して、どの程度の単価が妥当か、調査により検証を開始し、取り纏めを行った。その過程においてICTツールを活用したタイムスタディによって作業時間帯を把握していることから、当該調査結果をもとに、全10施設の業務時間の構造もあわせて集計した。

目的

①直接介護にかかる時間、②間接業務にかかる時間（事務処理、記録等）について検証を行い、特別養護老人ホームにおけるコスト構造を検証

留意点

他施設でも汎用可能なICT技術を活用し、今後調査対象以外の施設においても導入ができる方法によりタイムスタディを実施

対象

介護職員（夜勤含む）、施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護職員、栄養士、機能訓練指導員、事務員、歯科衛生士

調査方法

ケア系職種にはスマートフォンアプリを活用し、何時から何時まで何を行ったか記録、事務系職種は、平素PCを使うためPCにてエクセル入力

< ケア系職種の入力方法 >



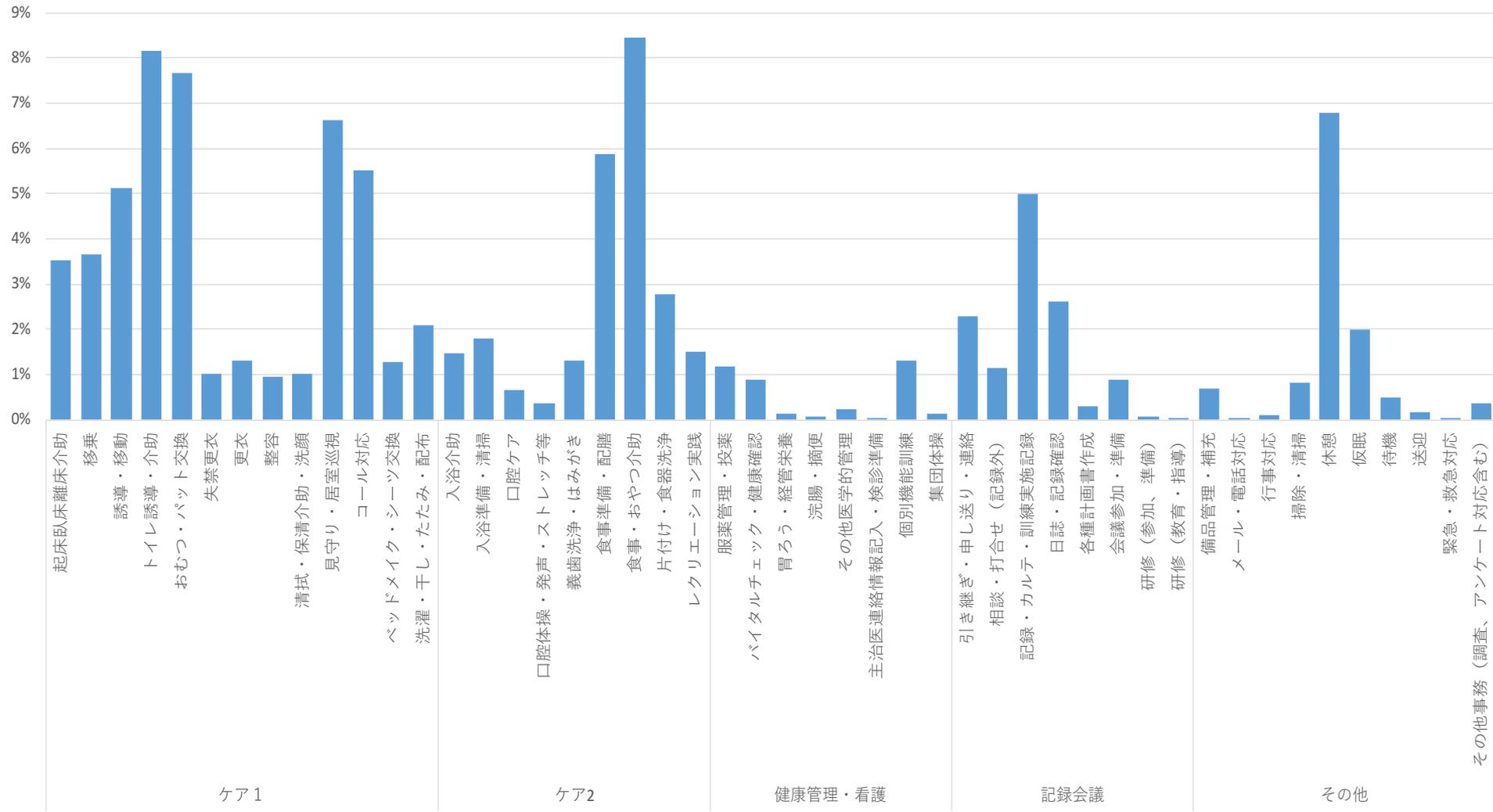
< 事務系職種の入力方法 >



| 区分名 | 大項目名 | 小項目名 | 内容 | |
|------------|------|------|-----------|---------------------------------------|
| ケア系職種-一般業務 | 業務 | 001 | 業務時間外 | 業務時間外業務、業務時間外業務(その他)業務、業務時間外業務(その他)業務 |
| | | 002 | 業務時間内 | 業務時間内業務 |
| | | 003 | 業務時間外 | 業務時間外業務 |
| | | 004 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 005 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 006 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 007 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 008 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 009 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 010 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| ケア系職種-介護業務 | 業務 | 011 | 業務時間外 | 業務時間外業務 |
| | | 012 | 業務時間内 | 業務時間内業務 |
| | | 013 | 業務時間外 | 業務時間外業務 |
| | | 014 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 015 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 016 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 017 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 018 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 019 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 020 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| 事務系職種 | 業務 | 021 | 業務時間外 | 業務時間外業務 |
| | | 022 | 業務時間内 | 業務時間内業務 |
| | | 023 | 業務時間外 | 業務時間外業務 |
| | | 024 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 025 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 026 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 027 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 028 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 029 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |
| | | 030 | 業務時間内(ケア) | 業務時間内業務(ケア) |

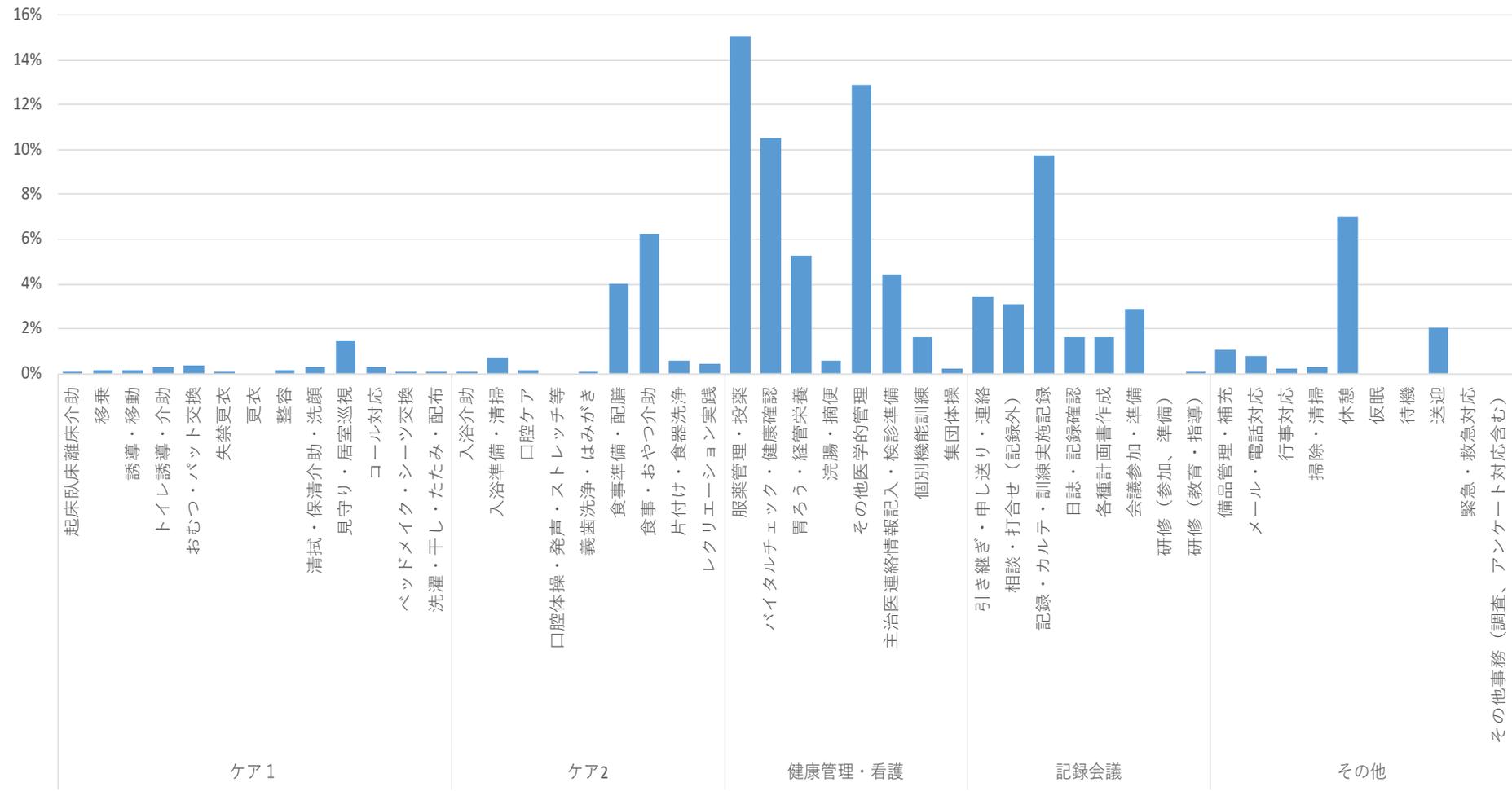
調査結果概要 介護職員 (10施設249名入居者一人当たり総計の職務時間)

- 介護職員においては、トイレ誘導・介助、おむつ交換、見守り・コール対応、食事準備・介助のほか、記録関連にもかなりの時間がかかっている。



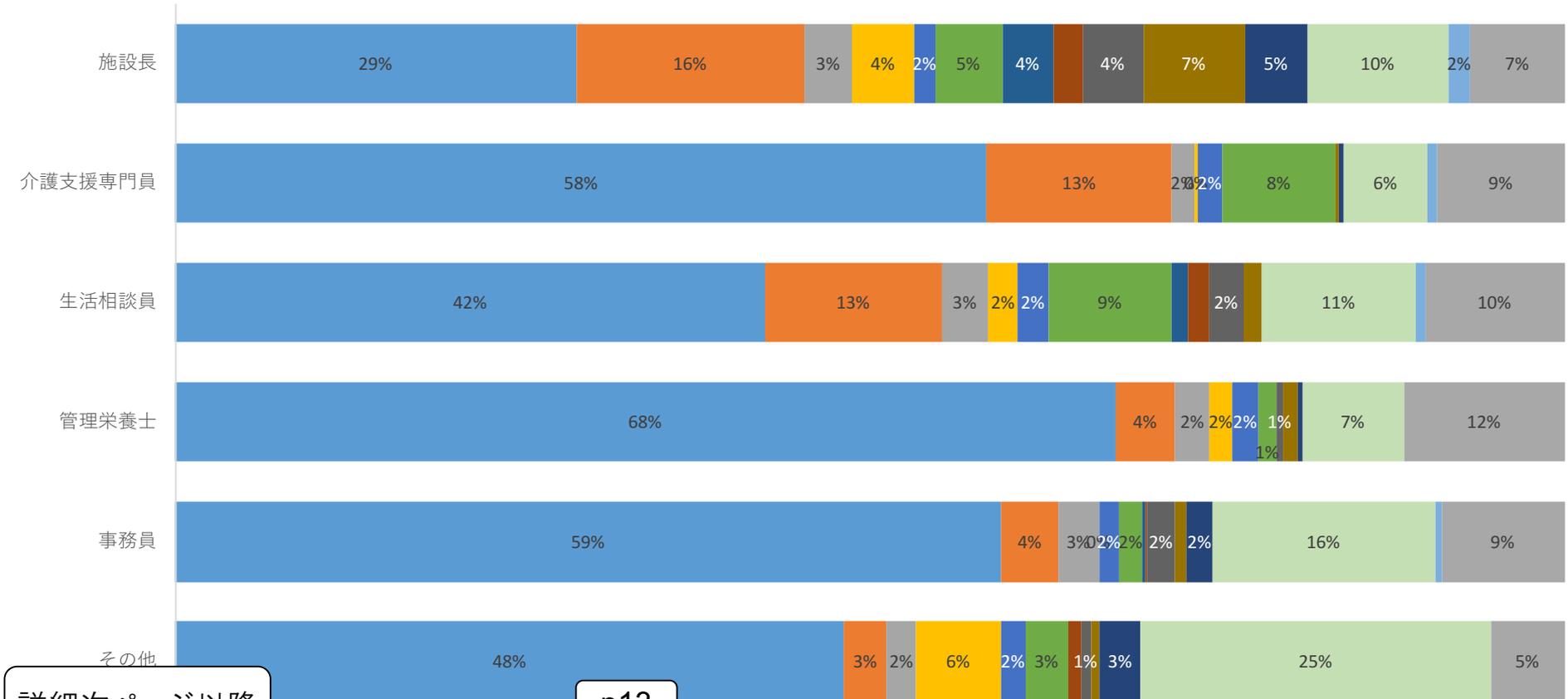
調査結果概要 看護職員 (10施設39名 入居者一人当たり総計の職務時間)

- 看護職員については、健康管理・看護のほか、記録関連に多くの時間を要している。



調査結果概要 事務系職種 (10施設70名 入居者一人当たり総計)

- 各職種として想定されている業務が30%～60%を占めており、共通で行われる業務の中では、「会議・引継ぎ」、「その他事務」の割合が高い。



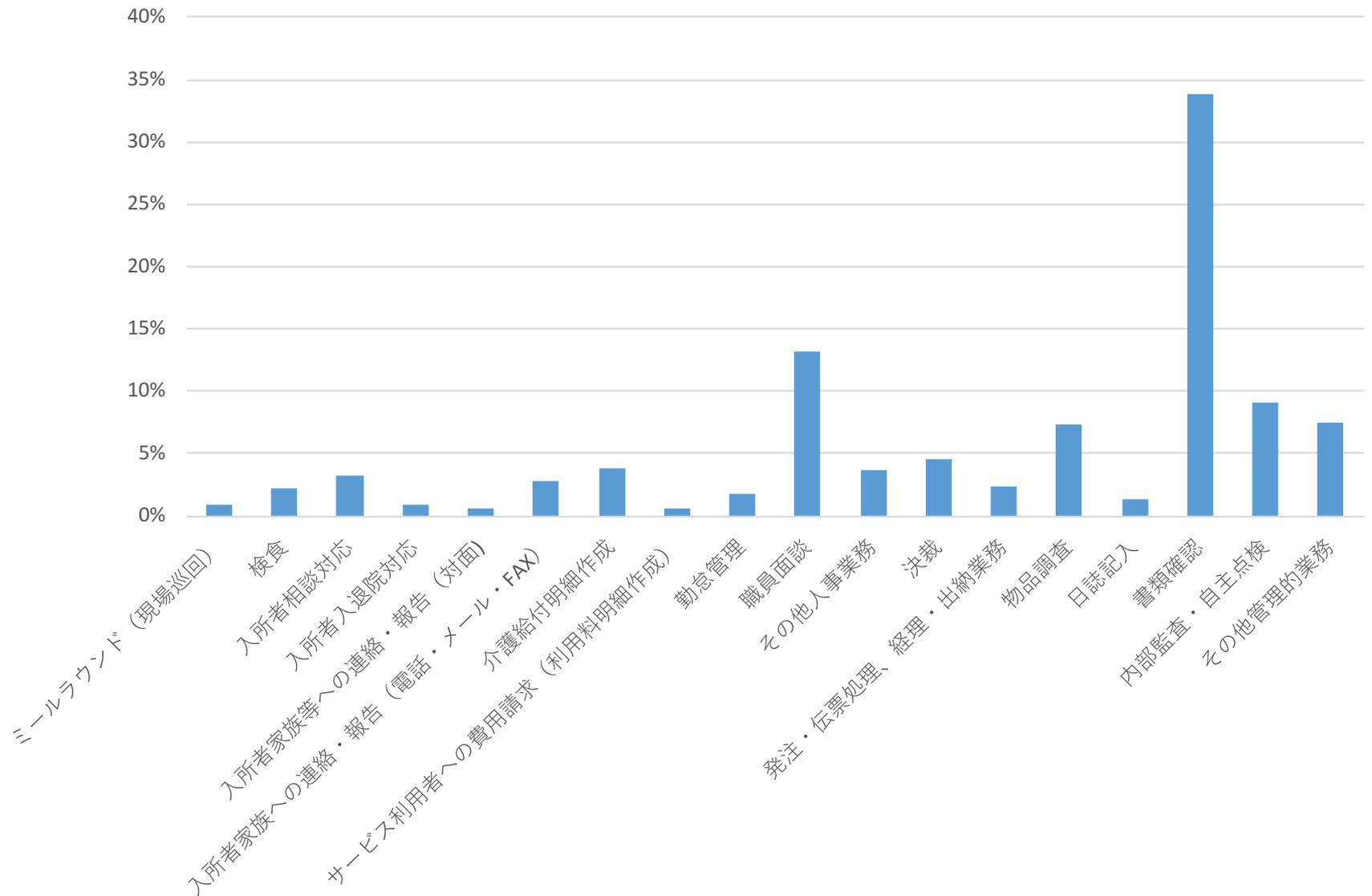
詳細次ページ以降

p13

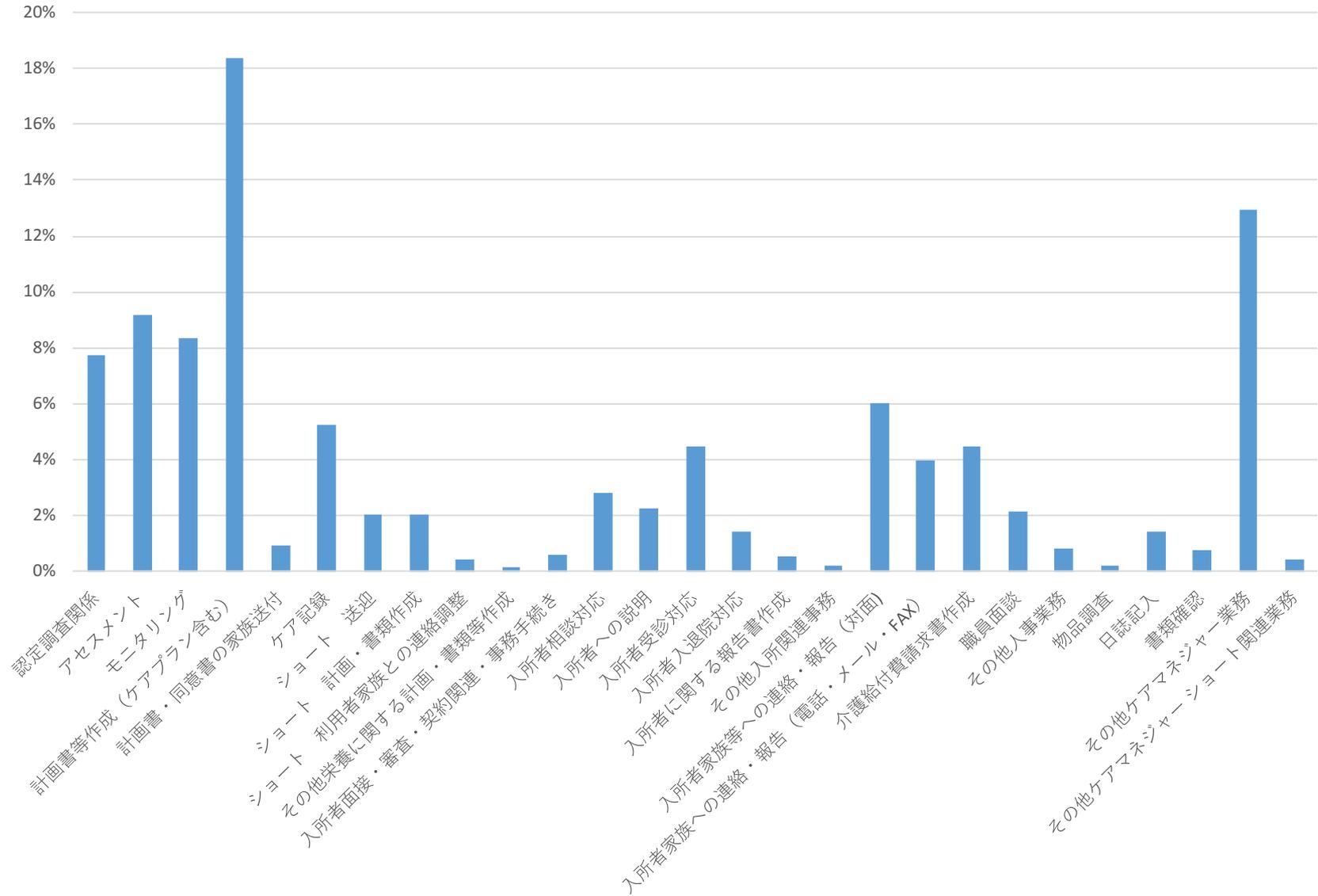
- 各職種想定業務
- 会議・引継ぎ
- 会議・引継ぎ (事務)
- 教育・研修
- 行事
- ケア関連
- 職員採用・退職関連
- 見学者対応
- 行政対応
- 取引先・業者対応
- その他外部者対応
- その他事務
- 送迎
- 休憩

調査結果概要 施設長 (事務系職種 各職種想定業務内訳)

- 施設長の職務として想定される業務の中では「書類確認」の割合が高い



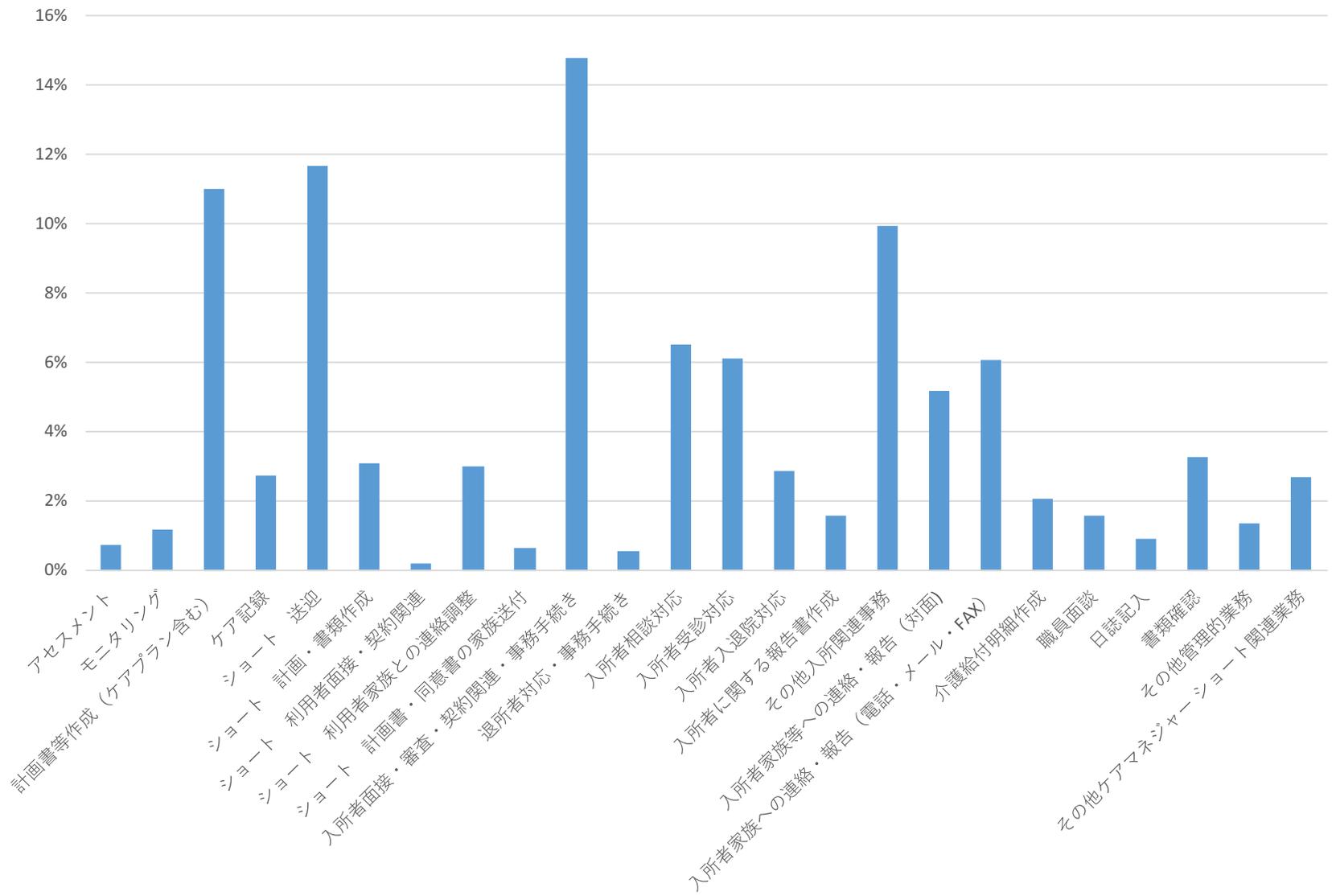
- 介護支援専門員想定業務の中では「計画書作成」の割合が高い。



調査結果概要 生活相談員

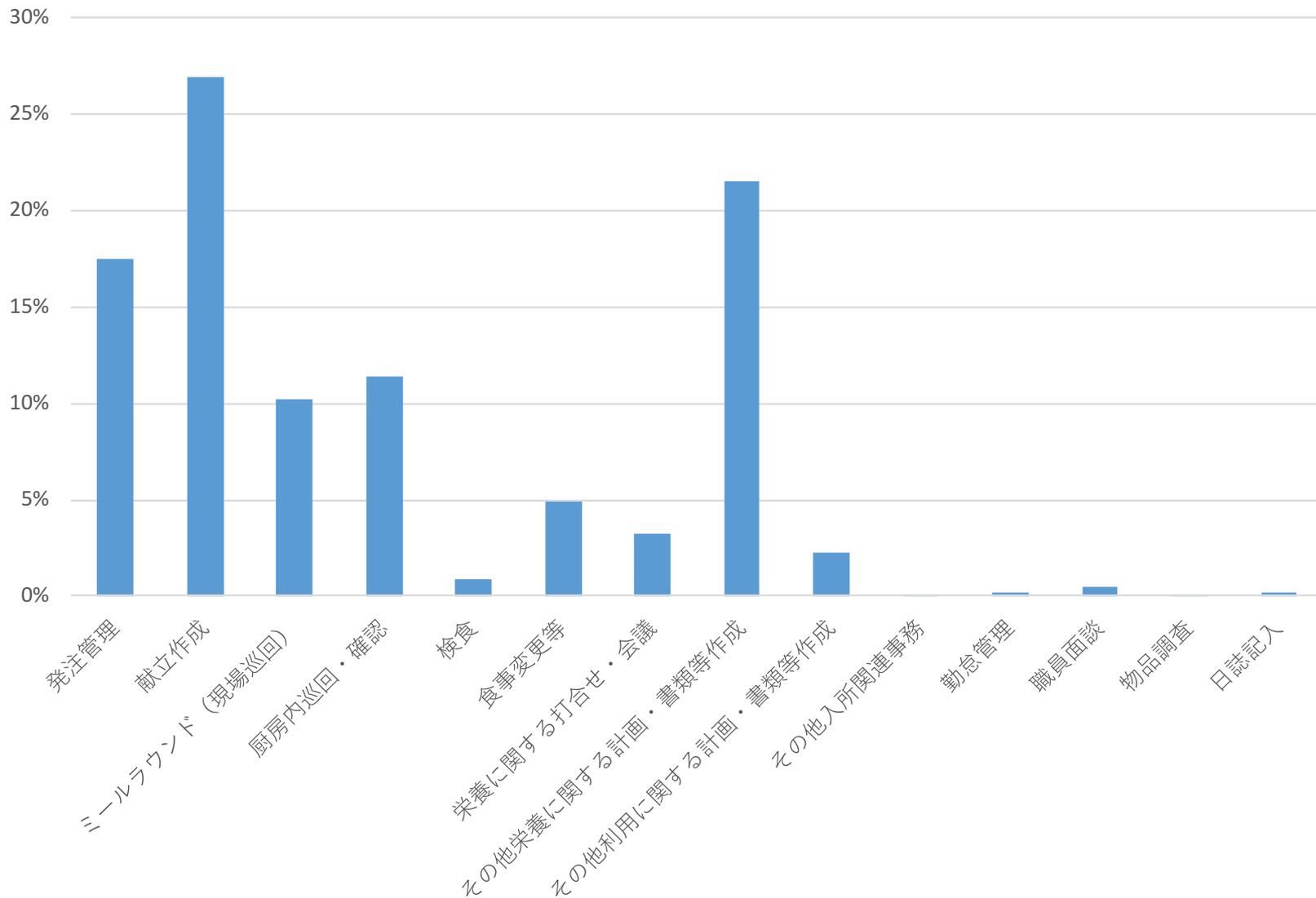
(事務系職種 各職種想定業務内訳)

- 生活相談員想定業務の中では「入所者面接・審査・契約関連・事務手続き」「計画書作成」「ショート送迎」の割合が高い。



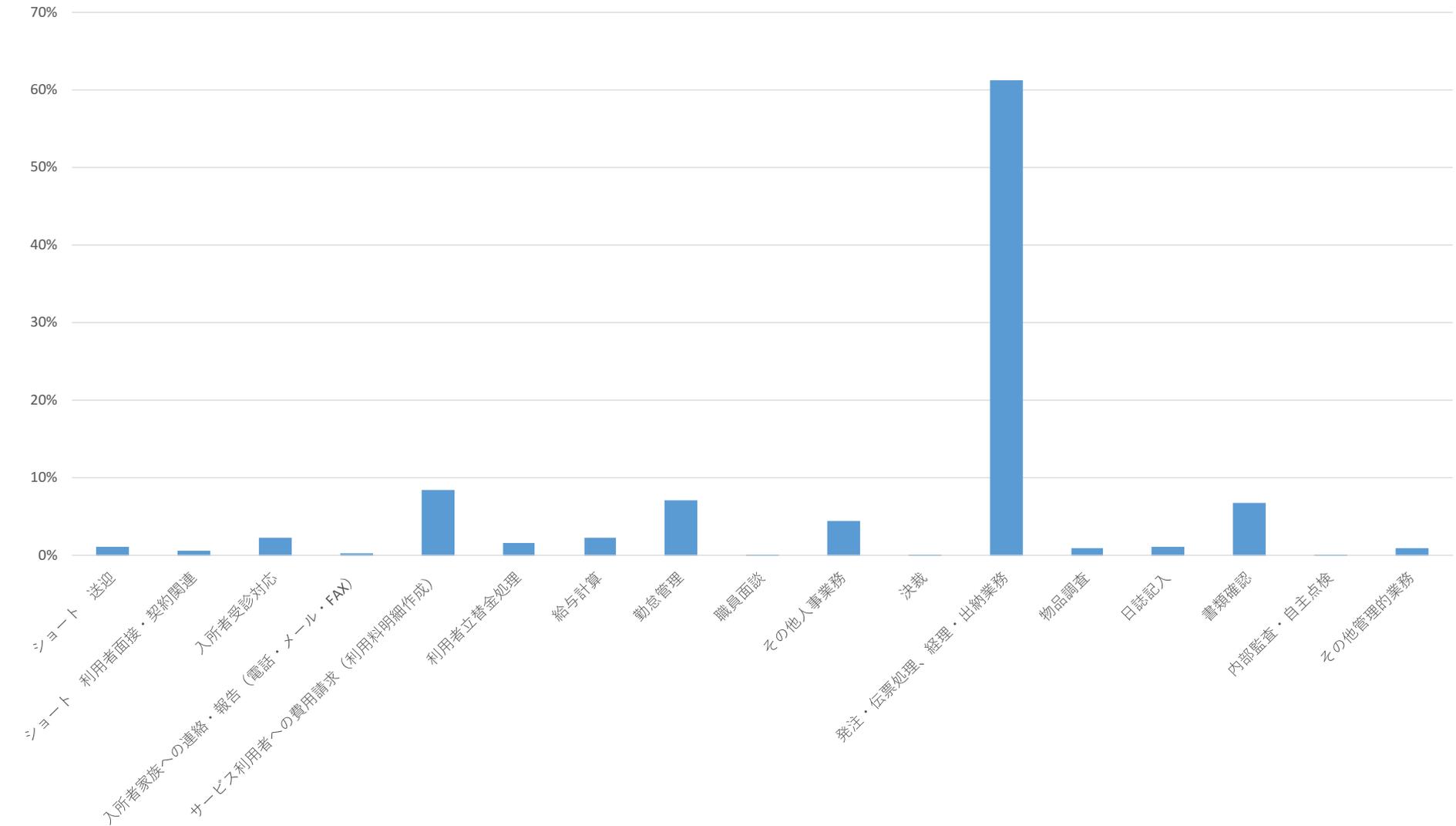
調査結果概要 栄養士 (事務系職種 各職種想定業務内訳)

- 栄養士想定業務の中では「献立作成」「その他栄養に関する計画・書類等作成」の割合が高い。



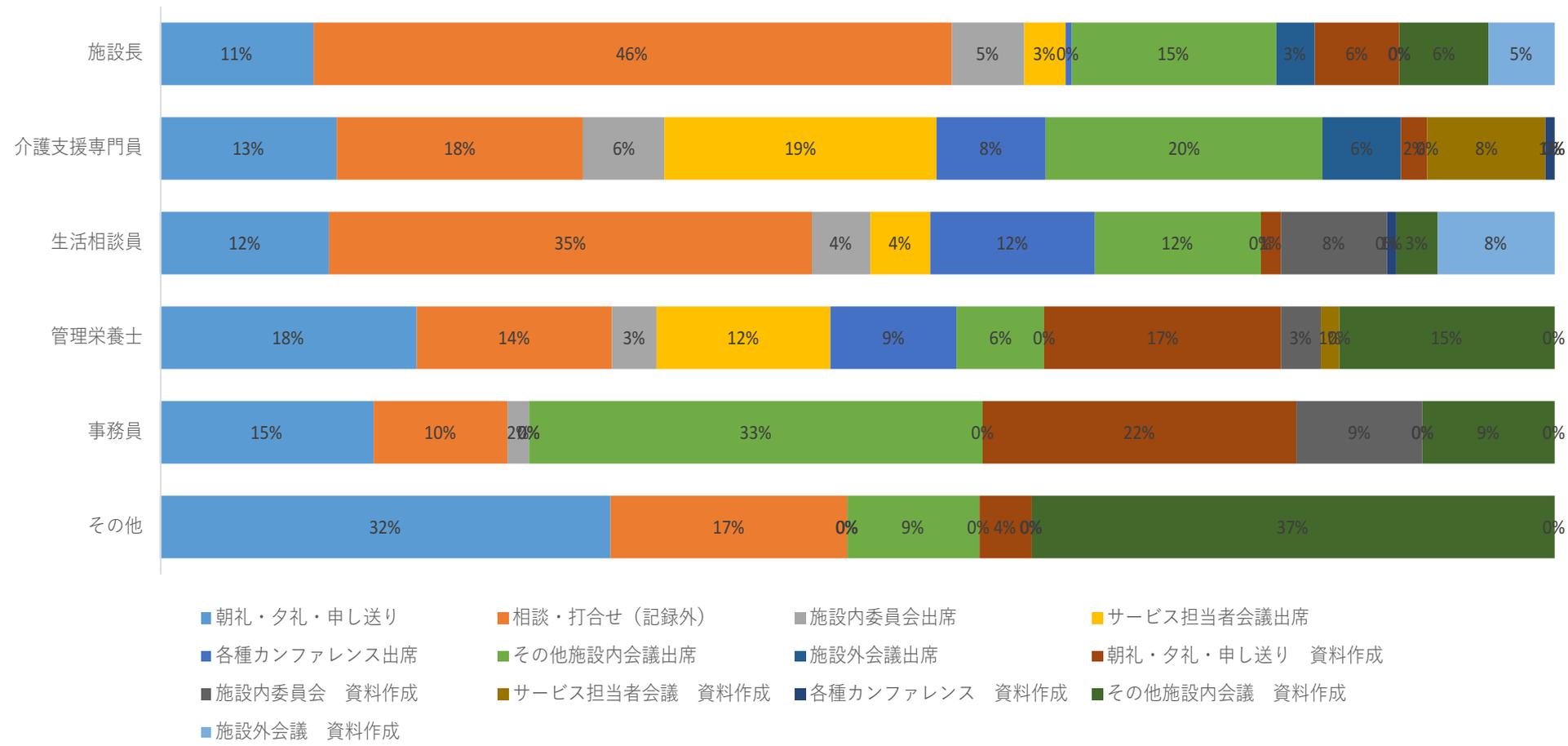
調査結果概要 事務職員 (事務系職種 各職種想定業務内訳)

- 事務職員想定業務の中では「発注・伝票処理、経理・出納業務」の割合が高い。



調査結果概要 「会議・引継ぎ」内訳

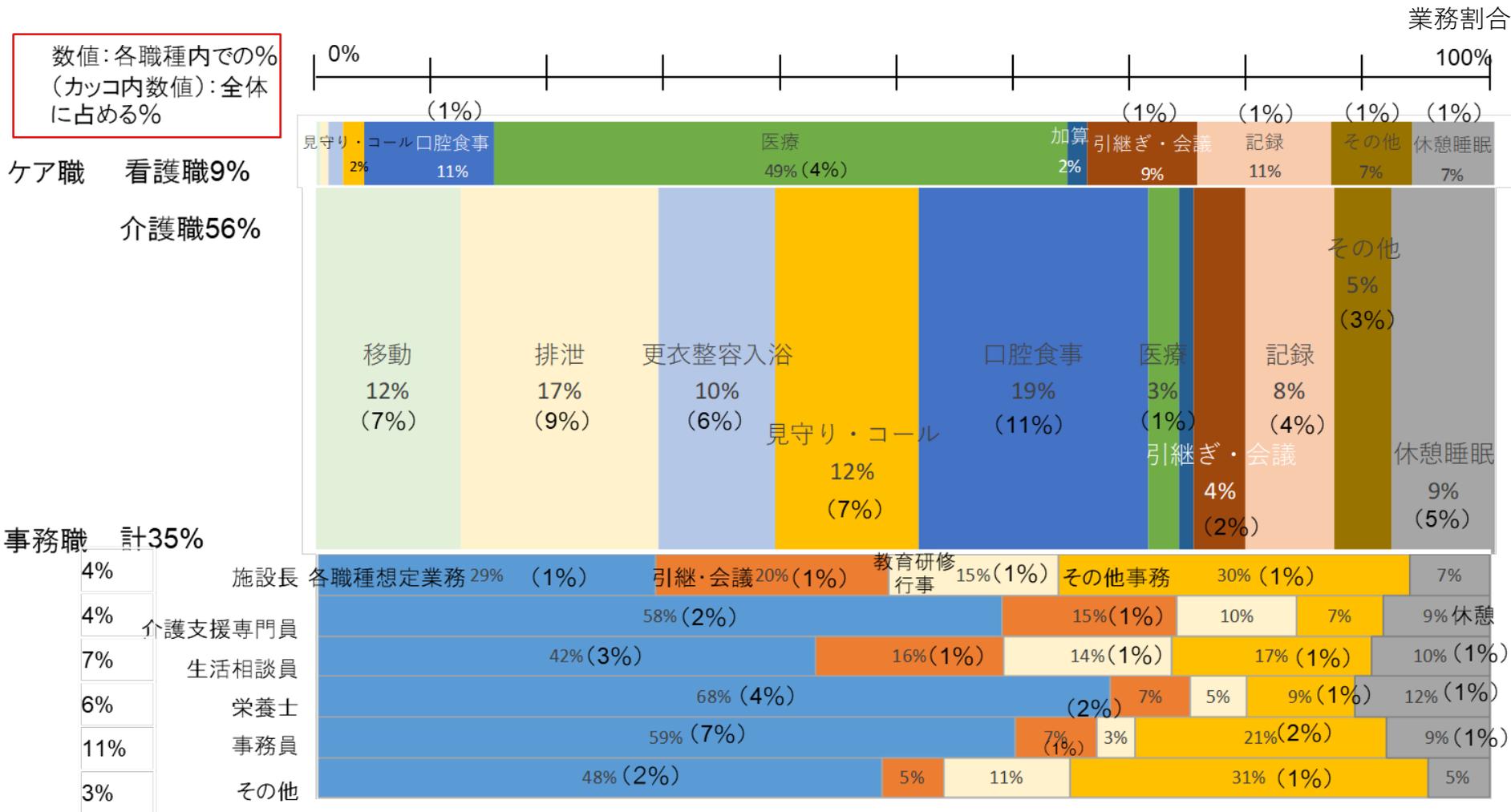
- 朝礼等申し送りにとも一定の時間を費やしているほか、相談・打ち合わせ、その他施設内外の会議にかかる時間数が多いことがわかる。また、これら会議体の資料作成にも少なからず時間を費やしていることが見受けられる。



調査結果概要 10施設入居者1人あたり業務量

- 介護職種の提供にかかる時間は、①口腔食事に関するケア、②排泄介助、③見守り・コール対応、④移動、⑤更衣整容入浴の順に業務量割合が高いことが分かった。

数値：各職種内での%
(カッコ内数値)：全体に占める%



生産性向上（業務効率化）の横展開に向けて

- 今後、全国老施協が業務効率化の横展開を進めていくフェーズの想定は、各施設での①業務の可視化、②ツール導入の検証、③実装・再検証により行う。

①業務の可視化

- 各施設で業務分析を自計式等により行うには、時間、人的、物的、資金的制限からも難しい。
- 本会が行った「介護老人福祉施設における適切な費用構造に関する調査」において実証した方法を用い、各施設職員がスマホアプリにより、自発的に業務内容の可視化ができる方法を広げていく。

(例) 株式会社ロジック
Care-wing®



②ツール導入の検証

- 各施設で業務内容が可視化できた後、どのような業務のどのような部分を効率化していくべきか各施設で検証することが必要。
- 業務のムリ・ムラ・ムダは、運営上の工夫で解消する場合もある。この過程で、ICTデバイス等を活用し、解決できるのであれば、その環境を整えていく必要がある。

⚠ やみくもに業務量の時間を削減すればよいわけではないことに注意が必要。

③実装・再検証

- 現在、「研究会議」においてICT技術等を活用した事例を共有しているところであるが、より標準的な業務効率化や、各デバイス間のAPI共有、連携基盤整備を目指す。
- 他方、実証において生じる課題について収集し、必要な措置を講じる。

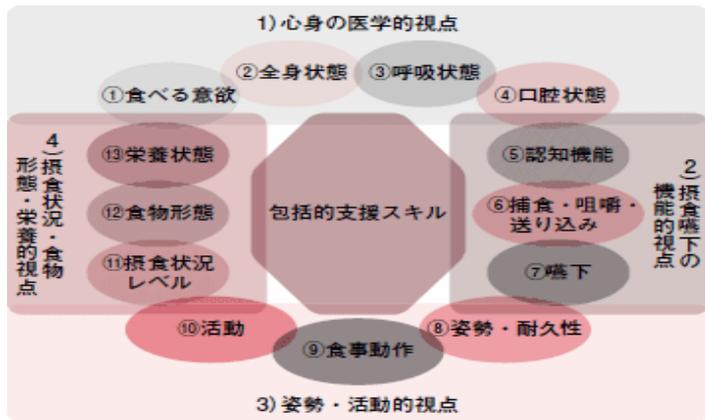
参考資料

2. ロボット・ICTの活用について

口腔・栄養ケアにかかるICT等導入事例

- 口腔ケアと栄養ケアは隣接領域であり、服薬の調整と排便のコントロールの観点でも重要となる。自然な排便が可能となれば薬の副作用の低減により、状態像は良好になる場合もある。今後は、調理員人件費等のコスト負荷への考慮も不可欠である。

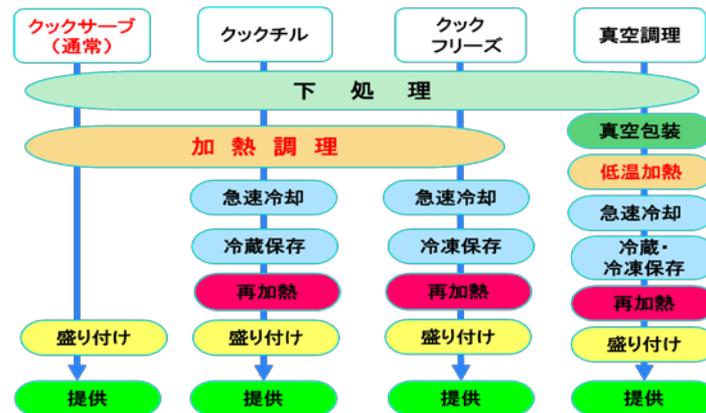
KTバランスチャート®による 利用者の能力の可視化



※ICTではない

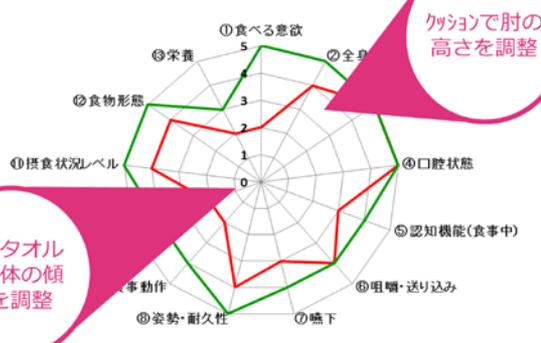
足りない部分を訓練等で支援

厨房職員の離職予防等から 調理システムを変更



業務効率化/ケア向上

KTバランスチャート



調理時間の効率化 →

△69時間/1か月

ふんわり食(*)のファイバ-添加 →

便秘改善(緩下剤減)

嚥下調整食 →

個別対応・朝食提供可能に

排泄・排尿にかかるICT等導入事例

- 高齢期における排泄/排尿の自立を高める観点からは腸内環境や服薬の調整のほか、姿勢の保持などによって排便間隔を安定させていくことは可能である。さらに排尿に関しては近年予測が可能なデバイスも存在しており、更なるケアの近代化が期待される。

排便のための適切な姿勢保持



浴槽内の椅子
高さ調整可

排泄予知と適切な介入



D free®

個人個人にあった調整の結果、
排便間隔が縮まったのは9/10名

通知機能により適切なトイレ誘導ができ、
使用パット枚数の減少、サイズダウン

| | 水分量 | 移動 | 下剤 | 排便間隔 |
|----|---------------|-----|----|-------|
| A氏 | 760cc (-140) | 歩行器 | なし | 3日に1回 |
| B氏 | 1050cc (+105) | 車椅子 | なし | 3日に1回 |
| C氏 | 1300cc (+110) | 杖歩行 | なし | 3日に1回 |
| D氏 | 850cc (-165) | 車椅子 | なし | 4日に1回 |
| E氏 | 1300cc (0) | 車椅子 | なし | 2日に1回 |
| F氏 | 950cc (-140) | 歩行器 | なし | 3日に1回 |
| G氏 | 1050cc (-100) | 車椅子 | なし | 2日に1回 |
| H氏 | 1010cc (+50) | 歩行器 | なし | 1日に1回 |
| I氏 | 1120cc (-130) | 車椅子 | なし | 3日に1回 |
| J氏 | 1660cc (+160) | 車椅子 | なし | 3日に1回 |



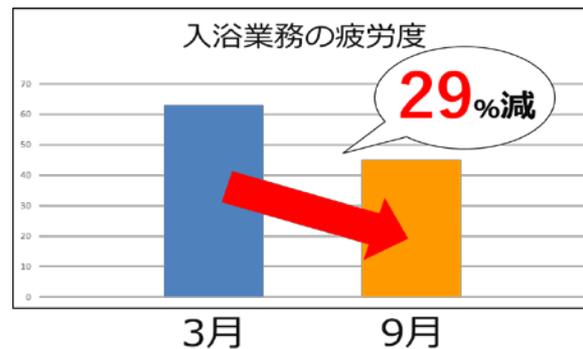
ロボット導入による介護者の負担軽減について

- 浴室の床が滑りやすい、入居者の踏ん張りがききにくい等により、過剰に上肢に力を入れた介助や無理な姿勢で介助をしてしまいがち。入浴業務における腰部負荷の軽減などにはロボットスーツ等の効果が期待される。



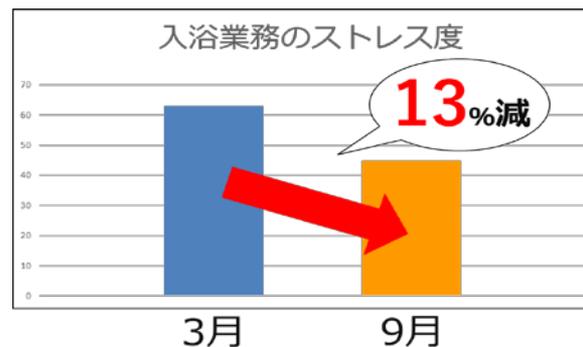
ロボットスーツ HAL®

- プロジェクトチーム立ち上げ
 - 定例会議での情報共有
 - 企業による指導
 - 管理者トレーニング修了者から職員への伝導
- 職場全体でこれら取り組みを進めることにより職場負担軽減効果が見受けられた。
- 腰痛による介護離職低減、ワークライフバランスの改善等が期待できる。



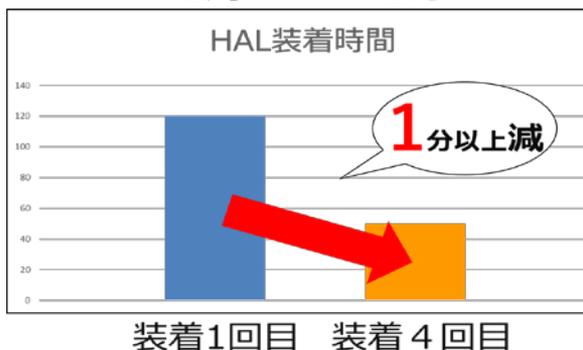
【対象者 14名】

- ・ 軽減した 10名
- ・ 変化なし 3名
- ・ 増加した 1名



【対象者 14名】

- ・ 軽減した 8名
- ・ 変化なし 3名
- ・ 増加した 3名



【使用までの時間】

トレーニング30~40分

- ・ 装着1回目 2分
- ・ 装着4回目 50秒

業務全般の効率化とICT等導入事例

- 見守りセンサー、記録のペーパーレス化、天井走行リフト、インカム、シフト自動作成システム等の導入により、業務フローの改善に向けた取り組みを行っている施設もあり、今後は、各種端末のAPI連携やデータ基盤のあり方が重要となる。

シフト自動作成システム

現場の運用規則に基づくシフト自動計算を実現

シフト映像の視認



ipad入力、インカム



天井走行リフト



WINWORKS One

ルールに基づくシフト自動計算システム

希望登録

勤務シフト配信

| 3つの視点 | 分類 | スタッフ | 項目 | 条件の例 |
|--------------|-----------|-----------|---------------------------|---------------------------|
| スキルを考慮した勤務人数 | 運営日の人数 | 店長 | 出勤人数 | 土日祝日、できるだけ勤務 |
| | | 副店長 | 出勤人数 | 土日祝日、できるだけ勤務 |
| | 店長と副店長 | 出勤人数 | 毎日、できるだけ1名以上 | |
| | パワースタッフ | 出勤人数 | 毎日、必ず1名以上（土日祝日、できるだけ2名以上） | |
| 働きやすさ | インポート人数 | レシメットの担当者 | 出勤人数 | 毎日、必ず1名以上 |
| | | 全員 | 出勤人数 | 毎日、必ず4名以上（土日祝日、できるだけ5名以上） |
| | 連続勤務日数 | 店長 | 出勤人数 | 毎日、必ず1名以上 |
| | | 副店長 | 出勤人数 | 毎日、必ず2名以上 |
| 公平性 | シフト回数の公平化 | 正社員 | 公休の回数 | 土日祝日以外にできるだけ休む |
| | | パート社員 | 公休の回数 | 平日の公休回数を公平化 |
| | シフト回数の公平化 | 正社員 | 出勤回数 | 日曜、祝日の出勤回数を公平化 |
| | | パート社員 | 出勤回数 | 早退回数を公平化 |

職員個々のシフト希望収集、基準等の法令遵守徹底、職員配置のバランス（新人職員への配慮）等を自動処理



在宅サービスにおける医療・介護を繋ぐICT等導入事例

- 在宅サービス等を利用されるご家族等にも施設の職員や歯科医師等との円滑な情報共有をICTサービスの連携により実現。利用者、ご家族の安心・安全につなげることが可能となっている。

■ 具体的な取り組み ■

- ①自宅でも施設でも暮らしの継続 + ②スペシャリストと連携
= ③家族がとなりにいる安心

アウトリーチ

而今桜



アザや傷の報告・説明時は電話との併用が良い

家族への連絡手段として

MedicalCareSTATION

家族



ちょっとした事でも聞きやすくなった

家族の不安が軽減

電話だけでは状態がわからない。写真だとわかりやすい

誤解・勘違いを防げる
= 苦情が減る



参考資料

3. 介護現場のイメージ改善

特別養護老人ホームにおける介護職員賃金の比較

- 特養の介護職員の賃金水準は、全産業と比較しても高まりを見せている。引き続き、賃金以外の処遇も含めた支援を講じていただくとともに、「高齡者」から想起されるネガティブなイメージを払拭し、介護の尊さや、社会的価値の向上に努めるほか、介護従事者が柔軟で、働きやすい環境整備に向けた支援をいただきたい。

(円/月)

| | ①一般の介護職員 | ②H29賃金構造 基本統計 | ①-② 差額 |
|------|----------|------------------|---------|
| 全体 | 305,951 | 333,800 | -27,849 |
| 北海道 | 289,868 | 288,600 | 1,268 |
| 青森県 | 256,669 | 254,900 | 1,769 |
| 岩手県 | 248,649 | 260,700 | -12,051 |
| 宮城県 | 254,057 | 311,000 | -56,943 |
| 秋田県 | 275,802 | 261,700 | 14,102 |
| 山形県 | 267,718 | 270,400 | -2,682 |
| 福島県 | 279,322 | 289,600 | -10,278 |
| 茨城県 | 312,641 | 332,800 | -20,159 |
| 栃木県 | 314,356 | 329,100 | -14,744 |
| 群馬県 | 320,981 | 313,800 | 7,181 |
| 埼玉県 | 317,848 | 327,500 | -9,652 |
| 千葉県 | 328,873 | 338,600 | -9,727 |
| 東京都 | 356,082 | 407,000 | -50,918 |
| 神奈川県 | 346,098 | 362,800 | -16,702 |
| 新潟県 | 297,004 | 284,200 | 12,804 |
| 富山県 | 306,288 | 294,000 | 12,288 |
| 石川県 | 300,944 | 305,000 | -4,056 |
| 福井県 | 317,995 | 298,500 | 19,495 |
| 山梨県 | 328,436 | 309,800 | 18,636 |
| 長野県 | 314,873 | 303,900 | 10,973 |
| 岐阜県 | 327,524 | 308,300 | 19,224 |
| 静岡県 | 319,610 | 323,100 | -3,490 |
| 愛知県 | 331,845 | 357,800 | -25,955 |
| 三重県 | 322,368 | 333,500 | -11,132 |

| | ①一般の介護職員 | ②H29賃金構造 基本統計 | ①-② 差額 |
|------|----------|------------------|---------|
| 滋賀県 | 346,461 | 330,100 | 16,361 |
| 京都府 | 337,983 | 339,900 | -1,917 |
| 大阪府 | 339,537 | 355,700 | -16,163 |
| 兵庫県 | 316,761 | 328,000 | -11,239 |
| 奈良県 | 334,257 | 326,200 | 8,057 |
| 和歌山県 | 267,451 | 310,000 | -42,549 |
| 鳥取県 | 221,475 | 275,700 | -54,225 |
| 島根県 | 310,726 | 278,200 | 32,526 |
| 岡山県 | 301,448 | 298,900 | 2,548 |
| 広島県 | 303,388 | 330,100 | -26,712 |
| 山口県 | 300,051 | 303,700 | -3,649 |
| 徳島県 | 293,536 | 297,600 | -4,064 |
| 香川県 | 328,805 | 302,800 | 26,005 |
| 愛媛県 | 301,111 | 286,200 | 14,911 |
| 高知県 | 286,831 | 275,900 | 10,931 |
| 福岡県 | 280,292 | 310,300 | -30,008 |
| 佐賀県 | 269,193 | 271,500 | -2,307 |
| 長崎県 | 254,055 | 278,900 | -24,845 |
| 熊本県 | 281,177 | 279,000 | 2,177 |
| 大分県 | 296,951 | 286,000 | 10,951 |
| 宮崎県 | 283,224 | 254,900 | 28,324 |
| 鹿児島県 | 294,350 | 269,300 | 25,050 |
| 沖縄県 | 275,835 | 261,600 | 14,235 |

※ 表中の①は介護老人福祉施設等平成29年度収支状況等調査結果（全国老協）より特別集計。②は平成29年賃金構造基本統計調査「都道府県別きまって支給する現金給与額、所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額（男女計）」より

老施協 ビジョン 2035

老施協 ビジョン2035

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

JAPANESE COUNCIL OF
SENIOR CITIZENS WELFARE SERVICE
VISION 2035

最期の一瞬まで、
自分らしく生きられる社会へ。

～予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする～

LINE@

全国老施協 友だち追加はこちら！
最新情報をお知らせしています



老施協ビジョン 2035特設サイト

